

# 『黒澤明の映画 喧々囂々——同時代批評を読む』

(2021年1月18日 初版第1刷発行 ISBN978-4-8460-2003-3)

## 正誤／訂正表

### 凡例

- ① (誤) の欄の赤字下線の部分は、(正) の欄では削除または訂正されている部分であることを示す。  
 ② (正) の欄の黒字下線の部分は、訂正した部分であることを示す。

頁	箇所	誤	正
27	2行目	実在の嘉納治五郎と西郷四郎をモデルにとした、柔術各派から技を選び、	実在の嘉納治五郎と西郷四郎をモデルに、柔術各派から技を選び、
179	2-6行目	秋月家に敗れた山名家の領地が混乱し、落ち武者狩りに巻き込まれた二人の百姓、太平（千秋実）と又七（藤原釜足）は右往左往する。山名家の世継ぎ雪姫（上原美佐）は逃亡し、秋月側から懸賞金が懸けられ探索が始まる。二人の百姓は山名家が隠した軍資金発掘の強制労働から脱走、国境を越えるべく岩の多い山間へ向かう途中、金の延べ棒を見つけ、そこで謎の男につかまってしまう。この男こそ、山名家再興を目指して雪姫と軍資金を守る、侍大将の真壁六郎太（三船敏郎）だった。	山名家に敗れた秋月家の領地が混乱し、落ち武者狩りに巻き込まれた二人の百姓、太平（千秋実）と又七（藤原釜足）は右往左往する。秋月家の世継ぎ雪姫（上原美佐）は逃亡し、山名側から懸賞金が懸けられ探索が始まる。二人の百姓は秋月家が隠した軍資金発掘の強制労働から脱走、国境を越えるべく岩の多い山間へ向かう途中、金の延べ棒を見つけ、そこで謎の男につかまってしまう。この男こそ、秋月家再興を目指して雪姫と軍資金を守る、侍大将の真壁六郎太（三船敏郎）だった。
361	2行目	アンドラは本文中でサタジット・レイや侯孝賢らの黒澤への影響にふれている。	アンドラは本文中でサタジット・レイや侯孝賢らの黒澤からの影響にふれている。